

## さいたま市インフルエンザ週報(速報)

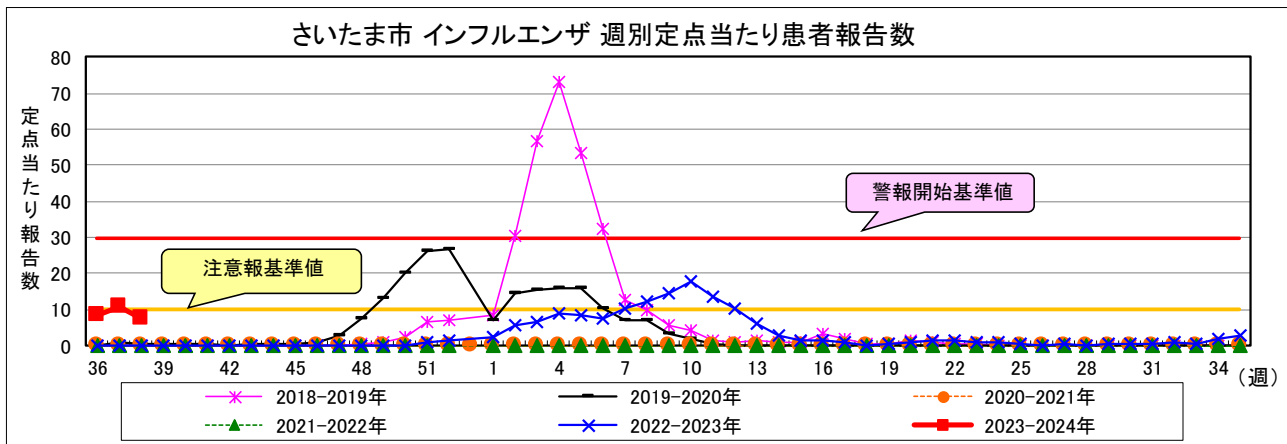
2023-2024年シーズン 第38週(9月18日～9月24日)

※さいたま市では小児科・内科診療を行っている43か所の定点医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況を把握しています。また、基幹定点医療機関(1か所)の協力によりインフルエンザによる入院患者の発生状況を把握しています。

### 1. 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関からの患者報告数は320人、定点当たり報告数は7.62人と、先週の10.88人から減少し、注意報レベル(定点当たり10人を超える)を下回りました。

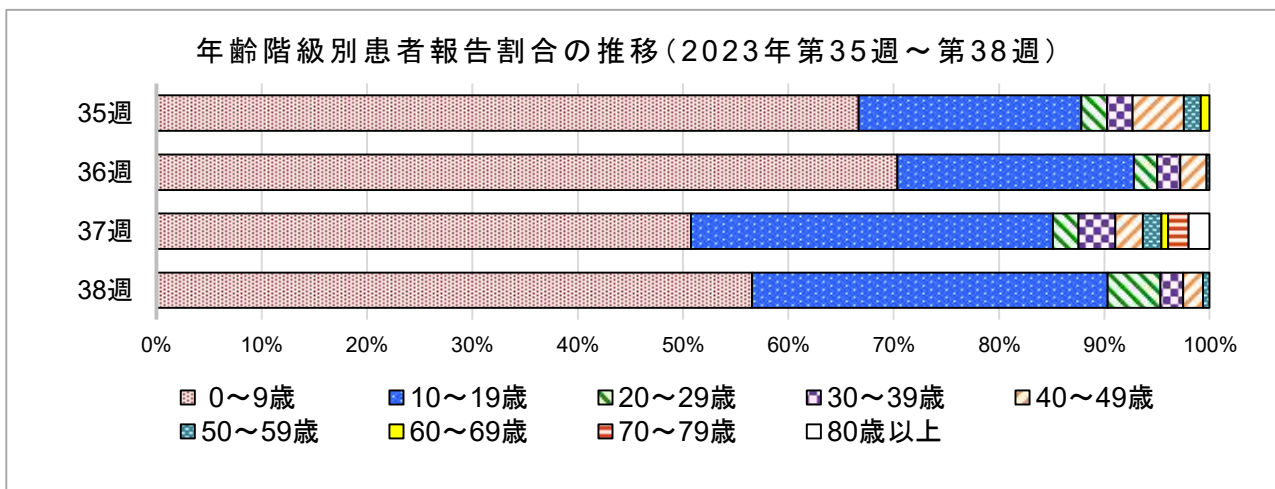
しかしながら、例年よりもかなり多い状況に変わりはありません。引き続きインフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットを励行し、体調の悪いときは無理をせず早めに休養しましょう。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。

### 2. 年齢階級別患者報告の推移

直近2週間においては、0～9歳の患者割合が減少、10～19歳の患者割合が増加しています。



★令和5年9月26日13時現在の速報です。